

各 位

静岡大学大学院人文社会科学部研究科

本研究科の学生募集要項については、次項以降に掲載しておりますが、**実際の出願にあたっては**下記の請求方法により、学生募集要項を入手し、所定の様式により出願をお願いします。**(なお、臨床心理学コースは募集しませんので、ご注意願います。)**

記

学生募集要項の請求方法について

(1) 窓口で請求する場合

学生募集要項は人文社会科学部学務係で配付します。

(2) 郵送にて請求する場合

定型封筒（長形又は角形）の表の左下に、「大学院人文社会科学部研究科募集要項請求（臨床人間科学専攻 学内推薦入試 令和7年度4月期入学）」と朱書きし、裏面に請求者の郵便番号、住所、氏名を記入の上、次の「返信用封筒」を同封して人文社会科学部学務係宛に送付してください。

募集要項は無料ですが、郵送料についてはご負担願います。

「返信用封筒」（本学からの募集要項送付用封筒）

- ・規格 角形2号封筒（33cm×23.5cm）
- ・請求者の郵便番号、住所、氏名を明記
- ・360円分切手※（速達希望の場合は690円分切手）を貼り、折りたたんで大学に送付する封筒に入れてください。（※「ゆうメール料金」）

(3) 担当窓口及び請求先

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学人文社会科学部学務係（共通教育L棟0階）

電話（054）238-4485

令和7(2025)年度

静岡大学大学院
人文社会科学研究科修士課程
学生募集要項

臨床人間科学専攻 推薦入試

令和7年4月期入学



静岡大学

【目 次】

	(頁)
・ 静岡大学の理念と目標	1
・ 人文社会科学研究科アドミッション・ポリシー	2
・ 静岡大学大学院人文社会科学研究科の理念	5

【募集要項】

・ 臨床人間科学専攻	6
・ 指定出願書類一式	とじこみ

「受験票等送付用封筒」及び「払込取扱票」は挟み込み

静岡大学の理念と目標

「自由啓発・未来創成」

この理念は、教育だけでなく、なにごとにもとらわれない自由な発想に基づく独創的な研究、相互啓発的な社会との協働に不可欠であり、時代を越えて受け継がれるべきものです。静岡大学の学生・教職員は、このような認識の下で、教育、研究、社会連携・産学連携、国際連携の柱として、「自由啓発」の理念を引き続き高く掲げ、共に手を携えて地域の課題、さらには地球規模の諸問題に果敢にチャレンジするとともに、人類の平和と幸福を絶えず追求し、希望に満ちた未来を創り出す「未来創成」に全力を尽くします。

静岡大学は、以上のような意味での「自由啓発・未来創成」の理念のもと、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献していきます。

詳しくは <https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/goals/> を参照ください。

人文社会科学研究科 アドミッション・ポリシー

1. 育てる人間像

個別領域を越えた学際的・総合的な学習と研究を通じ、広い視野と実践的学識・素養をもつ高度専門職業人と、地域の課題にリーダーとして取り組み、改善策を提案し、地球の未来にも関心をもつ人材、分裂と衝突の時代を、共生と調和の時代に変えていく応用能力をもつ人材を育成します。

2. 目指す教育

人文社会科学研究科は、専門性と学際性、国際性と地域性を兼ね備えた高度専門職業人を養成します。

3. 求める学生像

対人援助の実践や社会政策、地域文化の創造や国際的コミュニケーション、企業経営や公共政策といった分野で地域社会や国際社会が抱える諸問題に積極的に取り組む意欲をもち、人文社会科学の各分野に関連する研究や実践を展開する意思を有する人の入学を期待します。

4. 入学に必要とされる資質・能力

学力検査（筆記試験又は論文審査）及び面接により、各専攻での学習と研究を開始するのに必要な専門知識、読解力、分析力、構想力、批判的・論理的思考力、及び問題意識、意欲、適性を評価します。

【入学者選抜の基本方針】

[臨床人間科学専攻]

臨床人間科学専攻は、保健・医療・福祉・教育・行政・NPO・市民運動などの対人援助の実践や社会政策の分野で、ケア・援助・支援・政策のあり方を探り実践的に活動しうる高度専門職業人の育成を目指しています。

そのため、臨床人間学・臨床心理学・臨床社会学・臨床身体運動学など広義の臨床人間科学の総合的な学習と研究を通じて、幅広い教養を身につけると同時に、援助実践、社会活動、政策提言のための専門的な知識と技能及び調査・研究の能力を養います。

選抜試験においては、本専攻において学ぶための基本となる、大学教育修了程度の専門的知識や読解力、幅広い視点からの分析力、構想力、批判的・論理的思考力、及び問題意識、意欲、適性などを、学力検査と面接をとおして総合的に判断します。

〈判定方法〉

《一般入試》

筆記試験による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《社会人入試》

筆記試験による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《推薦入試》

論文審査による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《外国人留学生推薦入試（ＡＢＰ対象）》

研究計画書審査による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《社会人リカレント修士特別選抜入試》

研究計画書審査による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

[比較地域文化専攻]

比較地域文化専攻は、地域文化を継承・創造する能力と国際的コミュニケーション力を涵養し、地域に密着しながらも幅広い視野をもつ高度専門職業人の養成を目指します。

そのため、哲学・文化人類学・歴史学・文学・言語学といった人文学領域のディシプリンに基づき、多地域にわたる共時的あるいは通時的な社会文化現象や言語文化現象の探究を通じて、現代的諸問題への応用性も備えた研究能力を養います。

選抜試験においては、本専攻において学ぶための基本となる、大学教育修了程度の専門的知識や読解力、幅広い視点からの分析力、構想力、批判的・論理的思考力、及び問題意識、意欲、適性などを、学力検査と面接をとおして総合的に判断します。

〈判定方法〉

《一般入試（前期）》

筆記試験による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《社会人入試（前期）》

筆記試験による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《外国人留学生入試》

筆記試験による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《一般入試（後期）》

論文審査による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《社会人入試（後期）》

論文審査による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《外国人留学生入試（後期）》

論文審査による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《外国人留学生入試（指定校推薦・10月期入学）》

口頭試問による学力検査を面接に併せて行い判定します。

《外国人留学生推薦入試（ＡＢＰ対象）》

研究計画書審査による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《社会人リカレント修士特別選抜入試》

研究計画書審査による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

[経済専攻]

企業経営のグローバル化・情報化に伴い、現代企業をとりまく国際経済環境を総合的に理解し、経営管理・企業情報などに関する諸問題を解決する能力が重要となっています。また、地域の行政需要の高度化や個性化の要請に対応して地域の公共政策の面で、地域経済に関する総合的判断能力や政策立案能力をもつ人材が求められています。

経済専攻は、上記の社会的要請にこたえるため、経済学・経営学分野における高度で専門的な分析能力・応用能力をもつとともに、これらの個別領域を越えた学際的・総合的な実践的学識・素養をもつ人材の養成を教育方針としています。

選抜試験においては、本専攻において学ぶための基本となる、大学教育修了程度の知識や読解力、幅広い視点からの分析力、構想力、批判的・論理的思考力、及び問題意識、意欲、適性などを、学力検査と面接をとおして総合的に判断します。

〈判定方法〉

《一般入試（前期）》

筆記試験による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《社会人入試（前期）》

筆記試験による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《外国人留学生入試（前期）》

筆記試験による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《一般入試（後期）》

筆記試験による学力検査と面接とを面接を高め比重で評価した総合点で判定します。

《社会人入試（後期）》

小論文による学力検査と面接とを面接を高め比重で評価した総合点で判定します。

《外国人留学生入試（後期）》

筆記試験による学力検査と面接とを面接を高め比重で評価した総合点で判定します。

《外国人留学生入試（10月期入学）》

筆記試験による学力検査と面接とを面接を高め比重で評価した総合点で判定します。

《外国人留学生入試（指定校推薦・10月期入学）》

口頭試問による学力検査を面接に併せて行い判定します。

《外国人留学生推薦入試（ABP対象）》

小論文による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

《社会人リカレント修士特別選抜入試》

研究計画書審査による学力検査と面接とを同じ比重で評価した総合点で判定します。

静岡大学大学院人文社会科学研究科の理念

静岡大学大学院人文社会科学研究科は、専門性、学際性、国際性及び地域性を兼ね備えた高度専門職業人の養成を目的としています。

これからの社会では、国際化、情報化、高齢化などが進むとともに、文化現象及び社会現象における一層の多様化と個性化が進行することでしょう。そのような社会的変化に的確に対応できる人材を養成するために、臨床人間科学専攻、比較地域文化専攻及び経済専攻の3専攻を設置し、それぞれの特色を活かして、総合的思考能力と実践的応用能力とを涵養します。

【臨床人間科学専攻】

臨床人間科学専攻は、保健・医療・福祉・教育・行政・NPO・市民運動などの対人援助の実践や社会政策の分野で、ケア・援助・支援・政策のあり方を探り実践的に活動する高度専門職業人の育成を目指しています。

そのため、臨床人間学・臨床心理学・臨床社会学・臨床身体運動学など広義の臨床人間科学の総合的な学習と研究を通じて、幅広い教養を身につけると同時に、援助実践、社会活動、政策提言のための専門的な知識と技能及び調査・研究の能力を養います。

【比較地域文化専攻】

比較地域文化専攻は、地域文化を継承・創造する能力と国際的コミュニケーション力を涵養し、地域に密着しながらも幅広い視野をもつ高度専門職業人の養成を目指します。

そのため、哲学・文化人類学・歴史学・文学・言語学といった人文学領域のディシプリンに基づき、多地域にわたる共時的あるいは通時的な社会文化現象や言語文化現象の探究を通じて、現代的諸問題への応用性も備えた研究能力を養います。

【経済専攻】

企業経営のグローバル化・情報化に伴い、現代企業をとりまく国際経済環境を総合的に理解し、経営管理・企業情報などに関する諸問題を解決する能力が重要となっています。また、地域の行政需要の高度化や個性化の要請に対応して地域の公共政策の面で、地域経済に関する総合的判断能力や政策立案能力をもつ人材が求められています。

経済専攻は、上記の社会的要請にこたえるため、経済学・経営学分野における高度で専門的な分析能力・応用能力をもつとともに、これらの個別領域を越えた学際的・総合的な実践的学識・素養をもつ人材の養成を教育方針としています。

1 募集専攻および人員

臨床人間科学専攻 若干名 (臨床心理学コースは募集しません)

2 試験日程

後期試験

面接試験 令和7年1月25日(土)

3 出願期間

令和6年11月25日(月)から11月29日(金)まで
受付は、午前9時から正午まで及び午後1時30分から午後5時までです。
なお、郵送の場合も11月29日(金)午後5時必着です。

4 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、面接、成績証明書等の提出書類を総合して行います。

(1) 面接の期日

令和7年1月25日(土) 9:00~

(2) 判定方法

- ① 総合点判定：専攻全体で、論文審査と面接の総合点の高位順に合否を決定します。
- ② 同点者は同順位とし、同順位者が合格点であるときは、同順位者すべてを合格とします。
- ③ 「科目等の最低ライン設定」はありません。
- ④ 配点

選抜方式	論文審査	面接	計
推薦入試	200	200	400

(3) 面接会場

静岡大学(静岡キャンパス)人文社会科学部棟または共通教育棟

5 出願資格

(推薦入試)

令和7年3月末日をもって、下記に該当、あるいは該当する見込みの者

- (1) 静岡大学を卒業し、関係する領域の教員から推薦を得た者

6 出願手続き

出願者は、下記の書類を、上記の出願期間内に提出してください。なお、郵送の場合は、必ず速達簡易書留郵便とし、封筒に「大学院出願書類在中」と朱書きしてください。

- (1) 入学志願票・受験票・写真票

本研究科所定の用紙を使用してください。

- (2) 卒業(見込)証明書 (注)外国の大学・学校の証明書は学位の記載があるもの
様式随意(コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。)

(3) 成績証明書

様式随意（コピー不可、外国語の場合は日本語訳を添付してください。）

(4) 受験理由書・研究計画書

受験理由書・研究計画書（本研究科所定の用紙）に受験理由及び入学後に行う予定の研究計画を記入してください。

(5) 提出論文

卒業論文の写しを1編必ず提出してください。また、提出する論文の要旨を日本語で4,000字程度にまとめてください（書式自由）。論文及び要旨は返却しませんので、ご注意ください。

なお、論文及び要旨のみ出願期間をこえて令和7年1月10日（金）午後5時まで受け付けます。期限までに提出の無い場合は、論文審査は0点とします。

(6) 推薦書

様式随意（関係する領域の教員の推薦書）

(7) 受験票等送付用封筒

本研究科所定の封筒を使用してください。あて先を明記し、354410円分の切手を貼ってください。

(8) あて名票

本研究科所定の用紙に合格通知を受け取る住所、氏名、郵便番号を明記してください。（注）様は消さないこと。

(9) <入学検定料>振替払込受付証明書貼付用紙

（注）入学検定料受付証明書を貼付すること。

7 出願書類請求及び提出先等

静岡大学人文社会科学部学務係
〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836
TEL (054)238-4485
FAX (054)237-9247

*なお、出願書類等は本研究科ウェブサイトからダウンロード可能です。

（静岡大学人文社会科学部） <https://www.hss.shizuoka.ac.jp/ghss/>

8 注意事項

- (1) 出願後は、いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。
- (2) 書類不備のものは受け付けません。また、提出された書類は返却しません。
- (3) 本研究科の選抜方法及び出願資格に関して照会する場合には、人文社会科学部学務係に問い合わせてください。

9 大学院入試成績情報の提供

当該年度の修士課程における受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を当該入試が実施された年度の翌年度の令和7年4月15日（火）から令和7年5月15日（木）までの間受け付けます。詳細は本学入試課までお問い合わせください。

入試課 TEL (054)238-4464 〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836

10 合格発表及び入学手続き

(1) 合格発表について

令和7年2月10日（月）午後2時頃

本学共通教育L棟南側玄関に掲示するとともに、合格者本人に通知（郵送）します。
閲覧期間は、合格発表日時から1週間です。

また、静岡大学人文社会科学部ホームページにも「合格者受験番号」を掲載します。

(注) ホームページ上での発表は、参考として閲覧の上、合格通知書により確認してください。

静岡大学人文社会科学部専用サイト <https://www.hss.shizuoka.ac.jp/>

(2) 入学手続き等の詳細については、本人に別途通知します。

11 入学料及び授業料

入学料 282,000円〈令和6年度実績額〉

授業料 半期分 267,900円（年額 535,800円）〈令和6年度実績額〉

(1) 入学料は上記の入学手続きの際に納入してください。

前期分の授業料については、令和7年4月1日から同年4月30日までに納入してください。

(2) 入学料はいかなる理由があっても返還しません。

(3) 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

(4) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(5) 実習費など別途費用が必要な科目があります（臨床心理士、公認心理師受験資要件科目を含む）。

12 入学検定料関係

(1) 検定料：30,000円

(2) 振込場所：郵便局（ゆうちょ銀行）の受付窓口

(注) ゆうちょ銀行以外の銀行からの払い込みはできません。

(3) 払込方法：同封の払込取扱票により必ず窓口で払い込んでください。

ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。

(注) ・払込取扱票の「ご依頼人」欄（3カ所）に住所、氏名等を、黒又は青色のボールペンで正確に必ず記入してください。

・「振替払込受付証明書」を郵便局（ゆうちょ銀行）の受付窓口から受け取る際には、必ず日付印の押印を確認してください。

・「払込受領証」は、受験票を受け取るまでは大切に保存ください。

(4) 振替払込受付証明書：「〈入学検定料〉振替払込受付証明書」貼付用紙の
所定欄に貼り付け、他の出願書類とともに提出してください。

(5) 払込後の返還

○検定料の返還について

払込後の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

① 検定料を払い込んだが、本学大学院に出願しなかった場合

② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 出願書類に不備等があり、出願が受理されなかった場合

○返還する検定料の金額

志願者本人の申し出により二重払い込み分又は全額を返還します。

○検定料の返還請求の方法

上記の①又は②に該当する場合は、便せん等を使って、次の1～8を明記した検定料返還請求書を作成し、必ず「振替払込受付証明書(入学検定料受付証明書)」又は「払込金受領証」を添付して、令和6年12月6日(金)〔必着〕までに、静岡大学人文社会科学部学務係(〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836)へ郵送してください。

③の場合は出願書類返却時に、「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上郵送してください。

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

静岡大学大学院入学検定料返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 入試区分(推薦入試)
- 3 出願しようとした大学院研究科専攻名
- 4 氏名(フリガナ)
- 5 現住所
- 6 連絡先電話番号
- 7 返還請求額
- 8 返還金振込先
 - ・金融機関名(金融機関コード)、支店名(支店コード)
 - ・預金種別(当座・普通)、口座番号
 - ・口座名義人(フリガナ)
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

<大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置について>

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について、志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除します。

詳しくは、専用サイト

(<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi/>)をご覧ください。

13 有職者に対する注意事項

(1) 官公庁・会社等に在職のまま入学しようとする人は、あらかじめ勤務先とよく相談、調整しておいてください。

(2) 働きながら学べる夜間・土曜日開講(臨床心理学コースを除く)

社会人入試による入学生は、教育方法の特例の適用を受けることができます。有職者・社会人が入学した場合、2年間を昼間フルタイムで就学することは困難です。そこで、そのような有職者・社会人の事情を考慮して、研究指導のほか、講義・演習についても、夜間開講・土曜日開講などを活用して、社会人特例の就学を容易にするための多様な教育方法、弾力的な時間割の編成・工夫を実施しています。

(注) 夜間・土曜日のみで修了することはできません。

(3) 長期履修学生制度

職業を有している等の事情で、通常の学生よりも1年間又は1学期間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、修士課程の標準年限である2年間の標準修業年限を超えて在学をしなければ課程を修了することができないと考える人に対して、申請に基づき、大学が審査し、2年を超え4年以内の期間の在学をあらかじめ認め、計画的に課程を修了することにより学位の取得を認める制度があります。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。

14 臨床人間科学専攻臨床心理学コースに出願される人への注意事項

- (1) 臨床人間科学専攻「臨床心理学コース」修士課程は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の定める臨床心理士養成カリキュラムに則った研究指導プログラムとなっています。また「臨床心理学コース」の開講科目は、公認心理師施行規則（大学院における公認心理師となるために必要な科目）で定める科目の開講について「公認心理師法第7条第1号及び第2号に規定する公認心理師となるために必要な科目の確認について」の申請手続きに基づき基準を満たすとの確認を受けたものです。
- (2) 修了に必要な履修科目には、集中講義形式で行われるものや通年で行われる現場実習等、昼間に多くの学習の時間を確保しなければならないものがあります。そのため、在職のまま入学しようとする人は、このことを十分留意して受験してください。

なお、臨床心理士の詳細については、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会監修『新・臨床心理士になるために』（誠信書房）の最新版をご参照ください。

また、公認心理師の詳細については、厚生労働省のホームページ公認心理師 (<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116049.html>) をご参照ください。

15 個人情報の取扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。
- (2) 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務、④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。

16 安全保障輸出管理について

静岡大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」

静岡大学規則集

<https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.htm>

第2章 組織・運営 > 静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/ampo/gaiyou.html>

ENGLISH PAGE <https://www.meti.go.jp/policy/ampo/englishpage.html>